

専門薬剤師に全国初の資格手当 — 岐阜大病院

岐阜大医学部附属病院は4月から、日本病院薬剤師会（日病薬）が認定する専門薬剤師の有資格者に対し、全国で初めて資格手当を支給する。日病薬では、「職能団体の有資格者が認められたことは大変意義があり、画期的なことだ。チーム医療の一員として働いている薬剤師の励みにもなる」として、これを歓迎している。

日病薬では現在、「がん」「感染制御」「精神科」「妊婦・授乳婦」「HIV 感染症」の各部署で専門薬剤師を認定しているが、今回資格手当を支給されるのは、「がん」2人と「感染制御」1人の予定で、いずれも金額は5000円。同病院では昨年4月から、認定看護師を対象に5000円の資格手当の支給がスタート。これを受け、同病院の薬剤部が専門薬剤師への支給を要望していた。

日病薬では、「専門薬剤師は高度な知識を持っている。別にお金のためにやっているわけではないが、やはり評価されたことはうれしい。これが他の病院にも広がれば」とコメントしている。

更新：2009/04/02 16:02 キャリアブレイン